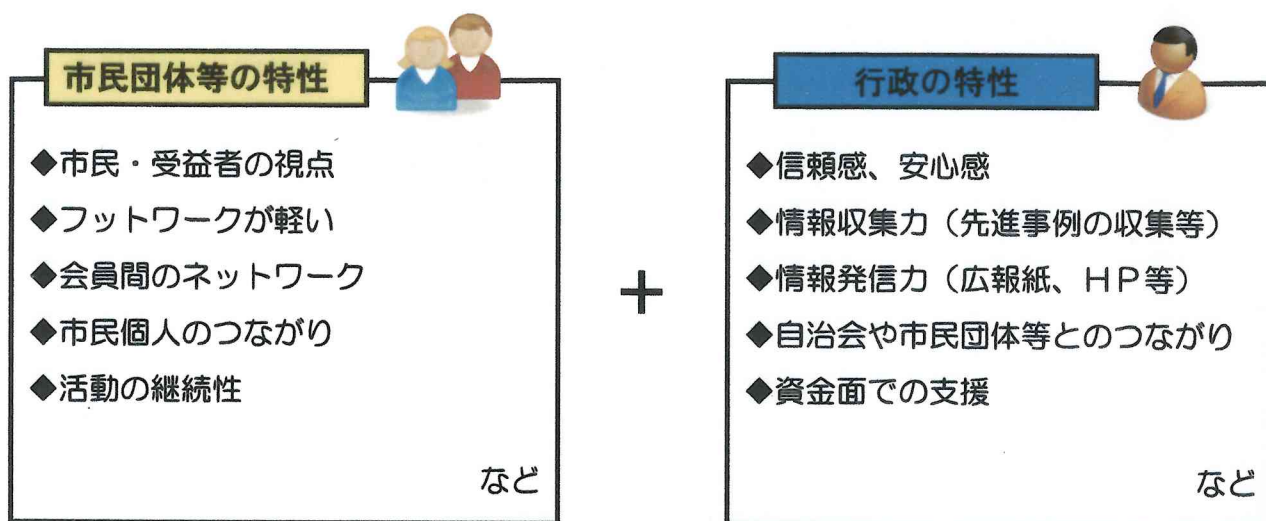


2 協働の効果

協働に期待することは、市民、行政それぞれの単独活動では成し得ないような成果（相乗効果）を獲得することにあります。

協働による相乗効果は、協働する主体がそれぞれに持つ特性を掛け合わせることで生まれます。

ここでは、市民団体が持つ特性と行政が持つ特性を挙げたうえで、それらが合わさることで期待される協働の効果を探ってみました。



多様な市民ニーズを事業に反映しやすくなり、行政だけでは手が届きにくい市民目線でのきめ細かなサービスの提供が可能になります。

私たちが協働することで需要にあったサービスを受けられるようになります。また、行政が活動をバックアップしてくれるおかげで、信頼性・安心感がプラスされます。

市民団体等のフットワークの良さが、迅速な事業展開につながります。また、市民団体等のネットワークを活用することで、多くの市民に関わっていただけるので、事業のPR効果が大きくなります。

町の広報紙やホームページを使って自分たちの活動を広くPRすることができます。また、協働で得た経験やノウハウは、事業を継続していくうえでの宝物になります。